

神戸ポートピアホテル 中内 仁氏 弔辞

偉大な研究者でいらっしゃる、熱心な教育者でいらした加護野先生のご霊前に、謹んでお別れのご挨拶を申し上げます。

私は加護野先生がお世話下さっていました「若手経営者のための経営講座」という朝食勉強会で、永年学ばせて頂き、たくさんの教えを頂きました。本当に有難うございました。初めて参加させて頂いたのは、もう20年ほど前になると思いますので、月に1度、年に10回ほど開催される勉強会において、加護野先生は通算では200回以上の勉強会に立ち会って下さり、この地域で活動する経営者の私たちをご指導くださいました。神戸商工会議所で若手経営者の育成をライフワークとされていた多井さんのご依頼にお応えになつての格別のご協力でした。加護野先生は神戸大学 MBA 講座の講師陣の皆様に、早朝からの講義を特別にご調整下さり、時には自ら講師となって私たちを指導下さいました。

「大学が社会と最も結びついているのは医学の分野で、大学病院は地域の人々に幅広く、大きく貢献しているが、大学の経営学ももっと、経営者のサポートを通じて、社会と広くつながり貢献すべきだ」というお考えを実践下さり、その結果として私たちの勉強会メンバーそれぞれが先生のご指導でより良い会社経営にとり組めたことを感謝しています。

私自身の会社で申しあげると、阪神・淡路大震災後、低迷する神戸のホテルマーケットで生き残るために、医学系のコンベンションに焦点を絞った経営をすることを教えて頂きました。また、2020年から丸3年続いたコロナ禍では、勉強会で講義をして下さった神戸大学の先生から教えて頂いた「両利きの経営」のコンセプトで新規事業の探索に乗り出すことで、事態の打開を図ることができました。

時代の変化は激しく、まだまだ加護野先生からたくさんのことを学びたかったのですが、残念ながらそれは叶わなくなってしまうしました。只、先生のお気持ちをくんで下さる神戸大学の梶原先生、甲南大学の西村先生のご配慮で、「加護野塾」として、勉強会は続けていけることになりました。こんな場面なら先生はこうおっしゃるかな、そのような課題であれば、「あの先生からもっと勉強しなさい」とおっしゃるのでは、と加護野先生の在りし日のことを偲びつつ、私たちはこれからも学びを続けて経営し、この地域の経済発展に貢献して参りたいと思います。

常に温かい眼差しで私たちを見守り、深い示唆に富んだ言葉を掛けて下さった加護野先生は経営活動における私たちの「父親」でいらっしゃいました。私が一番記憶しているのは「一見非合理に見えることでも、自分たちの価値観に従って『愚直に取り組むこと』が実は成功

につながる」という先生の教えです。加護野先生の深い愛情にお応えできるよう、私たちはこれからも頑張って参ります。

先生、たくさんの教えと励ましを有難うございました。先生、永い間、本当にお疲れ様でした。朝食勉強会では、ホテル特製のデニッシュパンを笑顔で楽しませていましたね。お好きでいらした甘いものを心置きなく楽しませて、どうぞ安らかにお休み下さい。先生、ありがとうございました。